

稚内市立図書館資料収集方針

2004年版V o l . 1 . 0

(平成16年8月20日)

稚内市立図書館

1. はじめに	1 P
2. 資料収集方針	2 P ~ 3 P
3. 資料選定基準	4 P ~ 25 P
4. 除架基準	26 P

はじめに

生涯学習への機運が高まる中、稚内市においても市民の価値観の多様化に伴い図書館への要求も多様化してきている。

当館においても個人貸出へ図書館サービスの重点をおき、サービスを展開してきた結果、選書においても市民の要求を予想し（期待し）貸出が期待できる図書を中心に選書が行われてきた。

また、幅広い分野で広範に図書を揃えるために、入門書中心の選書を行ってきたが個人の興味がより高度化し専門化してきた現状を考えると専門書の必要な分野が出てきている。

結果、ベストセラーやメディアで紹介されたもの、話題になった図書は多く購入されているが、専門書が少ない、図書館として当然、所蔵している図書がないなどの批判も寄せられるようになった。

以上の現状を踏まえ図書館の選書について基本となる収集方針を成文化し市民に示すことが必要と考え以下のとおり選書の基本的収集方針を示す。

なお、この収集方針は必要に応じ見直しをしていくことが必要であるが価値観は時代とともに変化していくものであり、一般論的、良書の価値基準も変化していくものであることを考えあわせ、図書館の資料収集については基本的事項については方針に従い収集しつづける必要があると考える。

1. 資料収集方針

(目的)

- (1) 稚内市立図書館は図書館法及び稚内市立図書館条例に定める公共図書館としてその役割を十分認識し、責務を果たす為、次の方針に基づき必要な資料を収集する。
- (2) 「図書館の自由に関する宣言」、及び「図書館員の倫理綱領」にのっとり自由に公平に偏見なく資料を収集する。
- (3) 資料の収集にあたっては市民の要求と関心及び、社会的動向を把握し、それを収集の中心と考えることを図書館員共通の認識として資料収集を行うものとする。

(基本方針)

- 1.資料の収集にあたっては「図書館の自由に関する宣言1979年改訂」の精神にのっとり次の各項を尊重する。
 - (1) 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
 - (3) 図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。
 - (4) 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりはしない。
 - (5) 図書館の収集した資料がどのような思想や主張を持っていようとも、それを図書館及び図書館員が支持する意味のものではない。
- 2.利用者からのリクエスト、蔵書についての意見・要望についてもこの方針に照らし十分検討し選書に取り入れていくようにする。また、図書館間の相互貸借等を利用し要望に応じていくよう務める。
- 3.この収集方針を公開して、市民の理解と協力を得て、市民の資料要求に応えられる蔵書構成とする。

(種類)

図書、逐次刊行物、視聴覚資料等とする。

(範囲)

国内で出版等されている各分野を広範囲に収集する。又、必要に応じ国外の一般的な資料も可能な限り収集する。

(選択)

所蔵資料の内容、利用者層の要求（潜在的な要求を含む）、著者、発行所、内容、形態、書誌的価値等を検討し収集する。

なお、新しい主題については時期を失することなく収集する。

(収集方法)

購入、寄贈、寄託等の手段を十分に活用する。

(補充)

亡失、棄損等による資料の補充は必要に応じて行う。

2.資料選定基準

- ・この基準は「稚内市立図書館資料収集方針」に基づき資料選択のよりどころとなるものである。
- ・各資料にあっては「日本十進分類法第9版」（類）において主要注意事項を記述し、特に注意する事項については各（網）ごとに選択基準を記述する。必要に応じ（目）においても記述する。
- ・各（網）・（目）に記述のない分野については（類）及び、総則において選択基準とし選択する。
- ・分類表に登場しない新しい分野・メディアにおいては時期を逸しないよう十分検討し収集していく。

（総則）

- （1）すべての分野にわたり、入門書、実用書、概説書については収集の対象とし専門書においても利用対象、社会情勢・動向を考慮し、内容を吟味し収集していくものとする。
- （2）多様な対立のある意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を偏りなく収集する。
- （3）法律、制度の改廃や新しい技術、ルール等、社会的動向や常に時代の変化に対応し選定する。
- （4）次に挙げる内容の図書は収集に十分留意するとともに取り扱いに配慮する。
 - ①差別を助長するおそれのあるもの。
 - ②人権やプライバシーを侵害する恐れのあるもの。
 - ③明らかに間違った内容を記載してあるもの。
 - ④高度な専門書で研究者・専門家を対象とした資料
 - ⑤わいせつ出版物であるとの判決が確定したもの。
 - ⑥各種試験問題
 - ⑦学習参考書
 - ⑧他人の生命・名誉・財産等に損害を与え、かつ社会的に悪影響を及ぼすと思われる資料
 - ⑨性を興味本位で扱った資料
 - ⑩新興宗教など評価の定まらない団体の著書は内容を十分吟味する。

(一般図書)

- ・ 予算の効率性を考慮し、新刊本を中心に選書するとともに、各分野の古典や基本書、入門書は適宜、最新のものに入れ替えるようにする。
- ・ (収集方針) からはずれる高度な内容であり利用が特定されるものや主題がマニアックで一般的に利用が見込めないものは図書館間貸出、特に道立図書館リクエスト制度また、寄贈や寄託などの手段を利用し各利用者の要求を満たす努力をする。
- ・ 予約の多い図書については内容により(一時的流行ではなく、長期間利用が見込めるもの)複本を用意するが複本は3冊を限度とする。
(3冊を超える冊数については予約待ちが6ヶ月を超える場合、個別に判断する。)

(各主題別留意点)

総記(0)類

- ・ 百科事典・書誌・目録・年鑑等価格が高価な資料を含んでおりそれらも適宜、最新のものに更新していく必要があり、計画的な収集が必要な分野である。

000～009 総記、情報科学

・ 007 情報科学～：

- ・ 資料要求の多い分野でありまた、技術的進歩の早い分野であるので最新の情報が得られるように収集する。
- ・ 実用書、技術書とも幅広く収集する。また、利用者の知識修得の状況により必要とする資料も異なるので、内容も幅広く収集する必要がありそれぞれのバランスにも配慮する。
- ・ 出版点数も多く、すぐに陳腐化するので各アプリケーションのマニュアル的なものはある程度代表的なものに絞って収集する。また、アプリケーション発売直後のものでなければすぐに次のバージョンに移ってしまい利用価値がなくなるので時期を逃さず収集する。

010 図書館・図書館学～：

- ・ 図書館関係図書は網羅的に収集する。
- ・ 叢書についても計画的に入れ替えを行う。
- ・ 書誌・目録に関しては高価であり他メディア、インターネットなどで代用できるものは代用させる。

030 百科事典～：

- ・ 計画的に入れ替えに務める。主要な、代表的なものを収集する。
- ・ 外国語のものは、利用が限定される為、選択時十分考慮する。

049 雑著～：

- ・ 利用の多い分野であるが、内容もさまざまなものがあり、収集方針に照らし内容を吟味し、選択する。

080 叢書・全集・選書～ :

- ・単行本との関係に留意し選択する。単行本で代用の出来るものは単行本で収集する。
- ・この部門の叢書は他部門のものを含んでいるので、他部門の単行本にも留意しながら選択する。
- ・計画的に入れ替えにも留意する。

哲 学 (1) 類

- ・入門書・概説書・古典を中心に収集する。
- ・現代の学問の動向にも十分留意する。
- ・各学説を網羅するように収集する。

100～139 哲学 :

- ・各学説を包括的に、収集する
- ・評価の定まった哲学者・思想家のものを中心に収集する。
- ・現代哲学の分野にも十分留意する。
- ・平易に書かれ、学生や研究者以外にも理解できるように描かれたものは積極的に収集する。

140～149 心理学 :

- ・平易に書かれ、学生や研究者以外にも理解できるように描かれたものは積極的に収集する。
- ・フロイト、ユングの著作、関する著作はある程度専門的なものまで収集する。
- ・超心理学・心霊研究、相法、易占については出来る限り科学的立場から記述された解説書、概説書を中心に収集し、興味本位のもの是最小限にとどめる。
- ・相法、易占についてはある程度評価の固まったものを中心に収集する。
- ・命名、名づけの資料は資料要求の多い分野であり流行があるものなので最新資料を用意する。

150～159 倫理学・道徳 :

- ・人生訓・教訓については幅広く収集する。
 - a. 各分野の代表的な人物、著明な人物については積極的に収集する。

160 宗教～ :

- ・学問的な観点で書かれた図書は積極的に収集する。
- ・評価の固まった宗派の古典、教義、経典、原典、概説書、入門書を中心に幅広く収集する。
- ・宗派の宣伝に徹したもの、改宗を強く勧めるもの、特定宗派を中傷、非難した

物は収集しない。(布教活動に使用されるようなものも含め)

- ・新興宗教等の著作は、ある程度評価が固まるまで収集しない。
- ・新興宗教についての著作は客観的に事実が記されたものは収集する。

歴史(2)類

- ・史料に基づき記述が正確で客観性をもつ資料はある程度専門書も含めあらゆるものを収集する。
- ・学問的なもの以外の娯楽的に書かれたものも収集する。
- ・叢書類の入れ替えに留意するとともに、新しく出版されるものにも十分留意する。
- ・奇説・珍説・異説等、現時点での主流的意见以外のもの(傍流)も内容に客観性、論理性がみられれば、収集する。

200～279 歴史:

- ・日本史、世界史については入門書から専門書まで幅広く収集する。
- ・北海道史・稚内市についてはすべて収集する。また、郷土資料とは別に貸出用としても複本を収集する。
- ・世界史については出版量の少ない国については特に留意し収集する。

280～289 伝記:

- ・各分野の代表的人物については収集する。
- ・現代人の伝記も収集する。
- ・宗教団体、各団体、企業のなど団体等・個人の宣伝用と取れるものは収集しない。
- ・人名録、職員録、人物事典も計画的に買い替えを行う。

290～ 地理・地誌・紀行:

- ・各国、各県、各地の資料は網羅的に収集するよう努める。特に出版の少ない国、県、地域のものには十分留意し収集する。
- ・北海道、稚内市についてはすべて収集したい。また、南極、ロシア、沖縄(石垣市)については当市との関係を考慮し積極的に収集する。
- ・各種旅行ガイドブックについては、定期的に最新版に更新する。
- ・各国・各県・各地のデーター、等、事情をあつかった資料は積極的に収集する。

社会科学（3）類

- ・扱っている主題の範囲が広範で出版点数も多く、また、利用者の資料要求も多様で量的にも多い部門であり、また、社会状況、法律の改正、制度の改変等、時事性の高い部門である為、幅広く、時期を逸さない収集が必要となる部門である。
- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心にある程度専門書も収集する。
- ・社会問題、時事、国際情勢、等タイムリーなものは時期を逸せず収集する。
- ・学生や研究者、専門家など利用者の限定される高度な専門書は収集を見合わせ大学図書館、専門図書館などとの相互利用を利用する。

302～ 政治・経済・社会・文化事情：

- ・各国の最新事情を幅広く、収集する。なお、出版時期が新しくとも内容が新しいくない図書もあるので選択の際十分内容を吟味する。

304～ 論文集・評論集・講演集：

- ・302と同様、最新のを幅広く収集する。
- ・代表的な著者のものは収集する。とともに新しい論者のものも社会動向に留意しつつ選択する。

309～ 社会思想：

- ・主要な社会思想家の著作は基本書を中心に体系的に収集する

310～ 政治：

- ・古典的なものから現代のものまで幅広く偏りなく収集する。
- ・多様な観点、主張、種類の資料を偏りなく収集する。
- ・315、政党については特定の政党を攻撃したものや宣伝したものは収集しない。
- ・316、国家と個人・宗教・民族についてはそれぞれの観点に立った資料を偏りなく収集する。
- ・317行政／318地方自治．地方行政についてはある程度専門的なものも含め幅広く収集する。また、法律や制度の改廃、最新法令について十分留意するとともに変わってしまったものは除架する。
- ・叢書も定期的に入れ替えを検討する。

320～ 法律：

- ・各種の法律について基本書を中心に幅広く収集する。
- ・法改正に十分留意し最新のものを提供できるように努める。
- ・加除式のもの、なるべく選択からはずす。
- ・民法、商法、刑法など一般の生活に密接した法律は実用的で平易なもの、またマンガなど図などでわかりやすく書かれたものは積極的に収集する。

330～ 経済：

- ・各経済理論について基本書を中心に幅広く収集する。
- ・経済について書かれた入門書は特に平易に書かれたものについては積極的に収

集する。

- ・ 332、経済史・事情・経済体制については幅広く収集する。とともに最新の事情について書かれた資料は積極的に収集する。

335・336～ 企業・経営：

- ・ 335、経営学は基本書を中心に収集する。特に平易に書かれた入門書は積極的に収集する。
- ・ 336、経営管理については入門書、からある程度の専門書まで幅広く収集する。
- ・ 実用書、実務書も各分野について幅広く収集する。
- ・ 簿記についてはある程度の専門書まで収集する。
- ・ ワープロ関連書は007との関連も考慮し、最新のものを収集する。

338～ 金融・銀行・信託：

- ・ 基本書を中心に収集する。
- ・ 株式取引、金融取引、為替取引、など財産等に著しい影響を与えるものについては入門書、概説書を中心に収集し、実際の実務書は収集しない。リクエスト等については図書館間相互貸借等を利用し要求に応じていく。
- ・ 制度の変更や、法律の改廃等に留意し最新の情報を提供できるように留意し収集する。

340～ 財政：

- ・ 常に最新の情報が得られるように資料の更新に留意する。
- ・ 国や各自治体発行の資料も（寄贈を利用し）、幅広く収集する。

350～ 統計：

- ・ 統計理論書も基本図書を中心に収集する。
- ・ 既に選定し毎年更新しているものは、発行に注意し、時機を逸することなく更新する。とともに新しく発行される各種統計書にも十分留意し収集する。
- ・ 一定期間ごとに発行される各種統計書は継続収集する意義は大きく、変更、または新しく選定するにあたり、内容、発行所などに十分留意し、選定し、選定を決定したならば継続的に収集していくことが望ましい。
- ・ 研究者のほかに学生・児童も参考資料として活用することが考えられるので、平易に書かれ、データに信頼が置けるものは積極的に収集する。

360～ 社会学：

- ・ 入門書を中心に各学説は偏りなく収集する。
- ・ 364、社会保障について、制度の改廃に留意し、最新のものを提供できるように、資料の更新に努める。
- ・ 366、労働経済・労働問題については基本書、実務書は幅広く収集する。とともに各種資格書、職業案内等も最新のものを収集する。

- ・資格ガイド、職業案内、通信教育等に関する資料は年度更新のものが多く、時期を逸せず収集する。

367～ 家族問題. 男性. 女性問題. 老人問題.

- ・社会的関心の高いものは時期を逸することなく収集する。
- ・常に新聞、テレビ、雑誌など、マスメディアに注意し社会の動向、話題に留意し新しい事項についても時期を逸することなく収集する。
- ・369社会福祉については制度、法律の改廃について十分留意し最新のものを幅広く収集する。
- ・ボランティアについては幅広く収集する。
- ・災害、災害救助に関しては網羅的に収集する。
- ・基本書、概説書、実務書を中心に収集する。

370～ 教育：

- ・入門書からある程度の専門書まで幅広く収集する。
- ・教育関係者が必要とする、高度な専門書、技術書、等は収集しない。
- ・PTA関係の資料は積極的に収集する。
- ・学校行事（運動会、学芸会、キャンプ、遠足、修学旅行など）は積極的に収集する。
- ・各教科ごとの参考書、問題集、等は収集しない。
- ・稚内市及び周辺地域の学校に関連する資料は積極的に収集する。
- ・学校案内、入学案内等は最新のものを提供できるよう時期を逸せず収集する。
- ・留学情報、案内は各国について広く収集するとともに、一定の期間で更新するよう十分留意する。
- ・手話、朗読等の技術書も最新のものを幅広く収集する。
- ・就職活動用の技術書は最新のものを提供するよう留意し収集する。
- ・卒業生名簿、同窓会名簿等、個人の情報を扱った資料は一般に販売されている等のもの以外の収集には取り扱いも含め十分留意する。
- ・379、社会教育については入門書から実用書、ある程度の専門書を含め幅広く収集する。

380～ 風俗習慣. 民俗学. 民族誌

- ・基本書を中心に幅広く収集する。
- ・385、冠婚葬祭については地方によって違いがあるので北海道については積極的に収集する。
- ・386、年中行事. 祭礼については適宜更新に努める。

390～ 国防. 軍事

- ・客観的立場で書かれた資料を収集する。
- ・戦争を賛美、美化した資料及び宣伝するような資料は収集しない。

自然科学（４）類

- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心にある程度専門書も収集する。
- ・一般向けに書かれた入門書、概説書は積極的に収集する。

410～ 数学：

- ・入門書を中心に幅広く収集する。
- ・410.79数学遊戯.魔方陣については積極的に収集する。
- ・417確率論.数理統計については一般向けに書かれた入門書は積極的に収集する。

420～ 439物理学／化学：

- ・入門書・概説書を中心に収集する。
- ・利用者が限定されるような高度な内容の図書は収集しない。

440～ 天文学. 宇宙科学：

- ・宇宙に関したものは子どもから大人まで興味の対象であり、資料要求も多く幅広く収集する。
- ・月食、日食、彗星、などその時の話題の自然現象等については時期を逸せず収集する。

450～ 地球科学. 地学：

- ・450.98自然災害史は幅広く収集する。特に北海道のものは積極的に収集する。
- ・海洋学、流氷については地域の特性を考慮し幅広く収集する。
- ・気象学については入門書から専門書まで幅広く収集する。

460～ 生物科学. 一般生物学

- ・各分野を幅広く入門書、概説書、基本書を中心に収集する。
- ・図鑑等は参考図書とは別に貸出用として複本も揃えるように努める。
- ・北海道、宗谷管内、稚内市に関する動植物の資料はすべて収集するように努める。
- ・地域の特性を考慮し、水性動物、貝類、魚類、等は積極的に収集する。

490～ 医学：

- ・基本書、入門書、概説書を中心に幅広く収集する。
- ・利用者が限定されるような高度な内容の資料は収集しない。
- ・病気の基礎知識、病後の生活等、利用者が参考となる知識がわかりやすく書かれた実用書は積極的に収集する。
- ・病気の判断等、利用者が独自に判断し誤解を生じるような資料は収集しない。
- ・医学的根拠のないもの、評価の定まっていない治療法や民間療法に関する資料は収集しない。

- ・ 特定の薬や治療法、健康法を普及、宣伝するために書かれた資料は収集しない。
(たとえ寄贈されても受け入れない。)
- ・ 検査、薬について、一般教養的に書かれたものは積極的に収集する。

技術（５）類

- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心にある程度専門書も収集する。
- ・一般向けに書かれた入門書、概説書は積極的に収集する。
- ・技術の進歩にあわせ、適宜、資料の更新に努める、とともに、新しい概念、技術についての資料も時期を逸せず収集する。

510～ 建築工学．土木工学：

- ・入門書、概説書を中心に幅広く収集する。
- ・都市工学、環境問題、公害問題は積極的に収集する。
- ・環境保護、公害、リサイクル等については小中学生も参考とできるような図案等が豊富で簡潔な説明のものも含め幅広く積極的に収集する。

520～ 建築学：

- ・527、住宅建築は実用に役立つ最新の資料を積極的に収集する。

530～ 機械工学：

- ・533、熱機関．熱工学は船舶関係のものは積極的に収集する。
- ・537、自動車工学は概説書、入門書を中心に幅広く収集する。とともに車選び、メンテナンス等の実用書も最新のものを積極的に収集する。
- ・不法改造、暴走行為、等法に反することを助長するものは収集しない。
- ・538、航空宇宙工学は基本書、概説書を中心に幅広く収集する。
- ・539、原子力工学は基礎的・一般的な概説書を中心に収集する。また、安全性等できざまな意見があり、多様な観点の資料を幅広く収集する。
 - a. 宣伝、普及を目的とした資料はたとえ寄贈であっても受け入れない。
- ・543、発電については風力発電については積極的に収集する。
- ・545、電灯．照明．発電については実用書を中心に収集する。
- ・547、通信工学．電気通信及び、548、情報工学については技術革新が激しい分野なので、最新の情報を提供できるように努める。とともに、上級者から初心者まで理解できるよう幅広く収集する。

550～ 海洋工学．船舶工学：

- ・地域の特性を考慮し漁船、小型船舶に関する資料は専門書を含めて広く、積極的に収集する。
- ・558、海洋開発についても幅広く積極的に収集する。

590～ 家政学．生活科学：

- ・利用が多い分野なので実用書中心に幅広く収集する。
- ・特に日曜大工、衣類、裁縫、手芸、住居、家具調度、食品、料理については内容に留意しながら専門書を含め幅広く積極的に収集する。
- ・599、育児については幅広く基本書、概説書、実用書を収集する。

産業（6）類

- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心に収集する。
- ・稚内市の産業構造を考慮し、漁業、酪農、観光については専門書を含め積極的に収集する。
- ・技術の進歩にあわせ、適宜、資料の更新に努める、とともに、新しい概念、技術についての資料も時期を逸せず収集する。

610～ 農業：

- ・社会的関心や農業全般について概説的に書かれた資料は収集する。
- ・入門書、基本書を中心に収集する。
- ・技術書については気候の違う場所について書かれたものは当市では役に立たないので内容について十分留意する。

620～ 園芸：

- ・家庭菜園、花、庭木、造園など利用の多い分野なので地域の気候等に注意し、実用書を中心に積極的に幅広く収集する。
- ・北海道、道北、稚内市について書かれた資料は積極的に収集する。

630～ 畜産業：

- ・基本書、概説書、を中心にある程度、専門書についても幅広く収集する。
- ・北海道、道北、稚内及び寒冷地についての資料は積極的に収集する。

660～ 水産業：

- ・稚内市の中心産業であるので専門書も含め幅広く収集するとともに最新の情報を提供する為、蔵書の更新にも留意する。
- ・666、水産増殖、養殖業、667、水産製品、水産食品及び水産物利用、水産利用工業に関しても幅は広く収集する。

680～ 観光事業：

- ・ある程度、専門書を含め幅広く収集する。
- ・ホテルガイド、遊戯施設等の情報を紹介した資料は利用の多い分野なので最新のものを積極的に収集する。

690～ 通信事業：

- ・実用書、基本書、概説書を中心に幅広く、収集する。
- ・693、郵便、郵政事業、は適宜、資料の更新に努める。
- ・694、電気通信事業は常に最新情報を提供できるよう新刊書中心に収集する。
- ・699、放送事業：テレビ、ラジオについては人気番組は内容に注意し積極的に収集する。

芸術（7）類

- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心にある程度、専門書も収集する。
- ・主題が非常に多様な分野であるが市民の趣味や実用、等生活に密接する分野であるのである程度、高度な専門書も必要とされる分野である。

710～ 彫刻：

- ・鑑賞を中心に初歩的制作についても体系的に収集する。
- ・718、仏像についてはあまり宗教的な内容のものは除き鑑賞、制作、種類についての資料を網羅的に収集する。また、適宜、資料の入れ替えに努める。

720～ 絵画：

- ・基本書、概説書を中心に収集する。
- ・叢書類は非常に高価であるが利用はそう多くなく、選択にあたって、十分注意し選択する。また、計画的に入れ替えに努める。
- ・制作についての実用書は幅広く入門書からある程度の専門書まで収集する。
- ・726.1漫画．劇画は内容を吟味し、広く一般に受け入れられているものについては収集する。以下の各項目についてよく検討し選択する。
 - ①社会的常識を逸脱していないもの。
 - ②性描写が興味本位でないもの。
 - ③暴力的であったり、内容がグロテスクでないもの。
 - ④その他

728～ 書．書道：

- ・入門書、概説書、基本書を広く網羅的に収集する。
- ・専門書は内容をよく吟味する。

740～ 写真：

- ・基本書、概説書、入門書からある程度の専門書まで積極的に収集する。
- ・写真器機についてのものは最新の物から、古典的なものまで幅広く収集する。
- ・撮影技術についても実用書を中心にある程度の専門書まで幅広く収集する。
- ・746、特殊写真については、ビデオ録画については幅広く収集する。
- ・写真集についても内容を吟味しながら収集する。

750～ 工芸：

- ・実用書中心に各分野において網羅的に収集する。
- ・利用の動向を見極め必要な分野については、ある程度、専門書も収集する。
- ・出版の状況により既存の蔵書の入れ替えにも十分留意する。

759～ 人形、玩具：

- ・人形、郷土玩具の製作についての実用書は積極的に収集する。

760～ 音楽：

- ・基本書、入門書中心に幅広く収集する。
- ・762、音楽史。各国の音楽は網羅的に収集する。
- ・楽器の演奏に関する入門書は積極的に収集する。
- ・話題や社会の動向に留意し話題になっている著者、音楽についての資料は時期を逸することなく収集する。
- ・楽譜については1枚ものはさげ、図書としての形態になっているものを収集する。

770～ 演劇：

- ・773、能楽。狂言／774、歌舞伎についての資料は積極的に収集する。
- ・777、人形劇については積極的に収集する。
- ・778、映画については、ある程度、時事性、話題性のあるものに絞って収集する。
- ・779、大衆演芸については基本書、入門書、実用書を中心に幅広く収集する。

780～ スポーツ、体育：

- ・各種目について網羅的に収集する。
- ・新しい種目、ルールの変更留意し、最新の内容のものを収集する。
- ・時事性、話題性に十分留意し、話題の選手、競技について資料は積極的に収集する。
- ・特に地域性を考慮しウインタースポーツに関する資料は積極的に収集する。
- ・北海道、稚内に関しての釣りの資料は積極的に収集する。
- ・782、陸上競技については基本書、入門書中心に幅広く収集する。
- ・783、球技については、各種目について幅広く収集する。
 - 野球、ゴルフ、など人気のスポーツの資料は特に積極的に収集する。
 - 競技のルール、入門書等は最新の内容のものを収集する。
- ・784、冬季競技については積極的に収集するとともに、毎年度更新される資料があるので、時期を逸することなく収集する。
 - a.北海道、稚内についての資料は全て収集するよう努める。
- ・785、水上競技については広く基本書、入門書、実用書を収集する。
- ・786、戸外レクリエーションについては幅広く入門書から専門書まで収集する。
 - a.特に登山、キャンプについては近年人気もあり利用が多い分野なので内容に留意し積極的に収集する。
- ・787、釣魚。遊猟は、釣りについては幅広く収集する。特に釣り場案内、海釣りについては地域性を考慮し積極的に収集する。

- ・788、相撲．拳闘．競馬／789、武術については幅広く基本書を中心に収集する。
ルールブック、教則本は積極的に収集するとともに最新のものへの入れ替えも行う。

790～ 諸芸．娯楽：

- ・基本書、説書を中心に幅広く収集する。
- ・791、茶道／793、花道は入門書、実用書を中心に各流派を幅広く収集する。
- ・794～798は実用書中心に入門書からある程度の専門書まで幅広く収集する。
- ・囲碁、将棋については出来る限り専門的なものまで収集する。
- ・799、ダンスについては実用書中心に収集する。

言語（８）類

- ・各分野の基本書、入門書、概説書を中心に収集する。
- ・稚内市の地域性を考慮しロシア語の入門書は特に積極的に収集する。
- ・生活に密着した（ビジネス英会話、旅行用英会話など）実用書は積極的に収集する。
- ・各国語の入門書、辞書については全ての国について収集するよう努める。特に国により出版点数が少ない国に十分考慮する。

810～ 日本語：

- ・挨拶、手紙等の例文集は最新のものを収集する。
- ・入門書、基本書を中心に収集する。
- ・方言については小中学生も参考できる記述が平易な資料は積極的に収集する。
- ・辞書等は現在蔵書のものを常に最新のものへ入れ替えるように努める。とともに新しい概念、等について扱ったものにも十分留意し収集する。

820～ 各国語：

- ・基本書、入門書、概説書、実用書を中心に各国を網羅的に収集する。
- ・特にロシア語についてはある程度の専門書まで積極的に収集する。
- ・英語、中国語、韓国語については内容に留意し、積極的に収集する。
- ・全ての国についてもれなく収集する。出版の極端に少ない国もあるので十分留意し収集する。

文学（9）類

- ・日本の現代小説を中心に収集する。
- ・古典については全集等も考慮し、網羅的に収集する。
- ・郷土、郷土人のものは全て収集する。
- ・主要な文学賞の受賞作品は積極的に収集する。

901～ 日本語：

- ・基本書、概説書を中心に収集する。
- ・著明な著者のものは積極的に収集する。

910～ 日本文学：

- ・作家研究については話題性に配慮し、積極的に収集する。
- ・911、詩歌については代表的な作家、作品については積極的に収集する。
 - a.代表的な古典については網羅的に収集する。
 - b.現代のものについては評価の定まった著者のものについては積極的に収集する。
 - c.短歌、川柳については話題性に留意し、収集する。
- ・912、戯曲については代表的古典は網羅的に収集する。
 - a.流行のドラマ、演劇等、話題性に留意し積極的に収集する。
 - b.年代別シナリオ集など年度更新の資料は時期を逸することなく更新する。

913～ 小説．物語：

- ・代表的古典は網羅的に収集するとともに、一定期間で入れ替えをするように努める。
- ・913.6、近代：明治以降については利用の中心と言ってもよく、出版社、著者に留意し、代表的作家のものは全て収集するように努める。
- ・新人作家の著作についても内容、出版社、時事性、話題性などに留意し収集する。
- ・主な文学賞受賞作品は積極的に収集する。

914～ 評論．エッセイ．随筆：

- ・現代小説に準じる。
- ・916、記録．手記．ルポルタージュについては郷土のもの、郷土について書かれたものは積極的に収集する。
 - a.時事性、話題性に留意し収集する。
 - b.内容が正確であり、客観性があるかに留意する。

920～ 中国文学：／999～ 各国文学：

- ・代表的な古典は網羅的に収集する。
- ・代表的な作家の著作は積極的に収集する。
- ・話題性、時事性に留意し、時期を逸することなく収集する。
- ・出版の少ない国のものにも留意し、もれなく収集するように努める。

・以上一般図書の選択基準を示したがこれらの基準は常に時代の変化や社会の変化に対応するべく見直しを行っていく必要がある。

・各類共通して次の資料は収集しない。

①各種試験問題集

②学習参考書

③教材のテープ、CD-ROM、ビデオテープ等を中心として図書が従となっているような資料

※1 リクエスト図書でも収集方針にそぐわない物は収集しない。図書館間相互貸借を利用する。

参考図書

- ①市民の調査、研究活動に役立つ資料を幅広く収集する。
- ②参考調査のための他の資料との関わりに留意し収集する。
- ③類縁、関係機関との蔵書構成も考慮して収集する。
- ④資料の種類
 - (ア) 百科事典
 - (イ) 地図帳
 - (ウ) 辞典・事典
 - (エ) 年表
 - (オ) 年鑑・年報
 - (カ) 書誌・目録
 - (キ) 統計書
 - (ク) 索引
 - (ケ) 便覧・ハンドブック
 - (コ) 法令・判例
 - (サ) 名簿・名鑑
 - (シ) 政府刊行物
 - (ス) 図鑑
 - (セ) 電話帳
- ⑤選択要件
 - ・調査、参照のため、検索手段があること（排列、索引）。
- ⑥内容
 - (ア) 主題別の六法、判例、書式等は、特に定めたもののみ収集する。
 - (イ) 既存資料の改訂、増補版等は内容の変更が著しく軽微な物を除いて収集する。
- ⑦形態形式
 - (ア) 同一資料で大型判と縮刷版のあるものは、大型判を収集する。
 - (イ) 特に利用の多い主題については、大型、多巻物とともに手軽に扱える資料も収集する。
 - (ウ) 年鑑、白書等は継続収集する。
 - (エ) 法令、判例を除き、原則として加除式資料は収集しない。

(郷土資料)

①郷土資料は積極的かつ、網羅的に収集しその充実に努める。

②選択要件

- (ア) 稚内市に関するもの。
- (イ) 北海道全域に関するもの。
- (ウ) 北海道内の各地方史
- (エ) 稚内市及び道内出身者が著者のもの及び、関するもの。
- (オ) 稚内市と特に関係の深い地域を扱ったもの。(樺太、北方領土等)

③種類別

(ア) 一般郷土資料

- ・郷土資料は積極的に収集する。

(イ) 行政資料

- a. 稚内市及び各行政委員会、議会の編集、発行物は収集する。
- b. 稚内市の外郭団体の編集発行は収集する。
- c. 稚内市に関するものは収集する。
- d. 北海道および国の機関の北海道支所(支場・支部)の編集、発行物は収集する。
- e. 稚内市内に所在する教育機関の編集、発行物は収集する。

(ウ) 地図資料

- a. 稚内市および北海道全域を扱ったものは収集する。

(エ) アイヌ関係資料

- ・アイヌに関する資料は収集する。

(オ) 郷土文学

- a. 稚内市及び北海道を舞台として描かれた作品は収集する。
- b. 作品の一部に郷土が描かれているものも収集する。

(カ) 樺太資料

- a. 樺太に関する資料は積極的に収集する。
- b. 古書等を利用し収集する。
- c. 地図、絵ハガキ、鳥瞰図、写真、レコード等、図書に限らず博物的なものも含め収集に努める。

(キ) その他

- ・未所蔵のもので必要なものは古書等により収集する。

逐次刊行物

①刊行誌が膨大なので、購入紙誌については、各分野の代表的なものを厳選する。

②幅広い分野から多くの主題について雑誌を選択する。

③寄贈による収集も積極的に行う。

④種類

(ア) 雑誌

a. 幅広くより多く収集する。

b. 地元発行誌は収集する。

c. 北海道発行誌は内容を厳選して収集する。

d. 外国語のものは利用状況を十分検討し選択する。

e. 一度選択したらある程度の期間継続収集しなければ意味がないので継続収集できる資料を収集する。(一定期間発行されある程度評価の定まったものを収集する。)

f. 選択にあたってはツール、他の図書館の状況を考慮する。(他の図書館で収集していることが選択の決定にはならない。他館に多く収集される雑誌はコア雑誌ではあるが、自館にある雑誌は他館にもあり、自館にないものは他館にもないことになり資料の独自性や相互協力にも支障を及ぼす。)

(イ) 新聞

a. 地元新聞は収集する。

b. 道内紙は収集に努める。

c. 全国紙は代表的なものを収集する。

d. 専門誌は内容を吟味し収集する。

e. 外国語のものは利用状況を十分検討し選択する。

f. 各団体、機関、会社、等の情報誌・紙、等は選択にあたり偏らないよう十分留意する。基本的には収集しない。

(児童資料)

- ・ 稚内市全ての子どもに公平に、読書の機会が与えられるよう、資料を整備する。
- ・ 子どもの発達段階それぞれに適切な資料とめぐり合えるよう十分な質と量の資料を収集する。
- ・ 特に児童・生徒の場合、本については図書館への依存度が高く、また、資料要求も多い年代であるため幅広い資料が求められるので、学習、読書（物語、絵本）から知識の習得、趣味、娯楽を対象とした実用書まで幅広く収集する必要がある。

- ・ 選択
 - ① 幼児から中学生以下を対象とした健全な資料を収集する。
 - ② 正しい学習を助け、人格形成、良い読書習慣に役立つ資料を収集する。
 - ③ 児童図書の研究資料等も積極的に収集する。
 - ④ 主題別

(ア) 絵本

- a. 絵・ストーリーともに児童にふさわしいもの。
- b. 子どもの表現力・空想力を養うもの。
- c. 代表的な作家のものは網羅的に収集する。
- d. 新人の作家のものは内容を厳選する。
- e. 内容に夢があり子どもの発達の上で役立つと思われるもの。
- f. 絵と文が対象年齢に沿っていると思われるもの。（対象年齢が理解しやすいもの。）
- g. 消失、棄損等の補充に留意する。
- h. 北海道に関するもの、北海道出身の作家の絵本は収集する。

(イ) 参考図書

- a. 情報は正確であり、項目の索引と参照が充分用意され、容易に検索できること。
- b. 学習に必要な事項が豊富に収録され、写真・図版・グラフ等が多く、理解しやすいこと。
- c. 自由研究等の図書は積極的に収集する。（複本も考慮する。）

(ウ) 伝記

- a. 史実に忠実であること。
- b. 対象年齢の子が理解しやすいような工夫がされている資料

(エ) 知識の図書

- a. 新しい知識・情報を備えていること。
- b. 小学校教育課程の要求を満たしていること。

(オ) 実用書

- a. 説明が正確で分かりやすいこと。
- b. 最新の主題について書かれていること。
- c. 高度な技術を要しないこと。
- d. 社会の動向に注意し、新しい主題について積極的に収集する。

(カ) 文学

- a. 原著について説明があること。
- b. 原則として、抄訳、重訳、翻案ものや、極端なダイジェスト版でないこと。
- c. 原則としてセットものの購入は避ける。

⑤紙芝居

- a. 絵本に準ずる。

(除架基準)

(目的)

- ・開架書架を常に新鮮で市民にとって魅力的な蔵書構成とする為、また、適正な蔵書量を維持し資料の破損を防ぐとともに扱いやすい状態を保つため、次に示す基準に従ったがい除架を行う。

(原則)

①一般図書：

- ・受入後10年を経過し、前年貸出が1回以下の図書
- ・法令、制度の改正があり版が更新された資料
- ・実用書等で技術革新が激しい分野の資料は、同一主題で次の資料が入った時（年数にはこだわらない）
- ・ブームが去ってしまい資料的魅力がなくなったもの。
- ・社会情勢の変化で資料的価値を失ったもの。
- ・破損、欠落、等図書の形態上不備がでてしまった資料（ただし、代替の効かない資料については、十分考慮する。）
- ・複本は期間にこだわらず、利用がおさまった段階で親資料以外を除架する。

②児童図書：

- ・受入後7年を経過し、前年貸出が1回以下の図書
- ・品切れ・絶版等に留意し、更新がきかず必要な資料は対象外
- ・その他、一般図書に準じる。

③参考図書：

- ・受入後20年を経過し、同一主題の他の図書で代替できるもの。
- ・版の改訂等により次の版がはいった資料
- ・技術革新等で資料価値の低くなった資料

④郷土資料：対象外

⑤その他：

- ・逐次刊行物（新聞、雑誌）は資料個別に定める。

- ・除架後、それぞれ資料により除籍、閉架書庫へ収納、リサイクル等の処理を決定し、処理を行う。